

20番 岡元 浩一 議員

1 市政運営全般について

- (1) 市民の生命と財産を守るうえで市長のリーダーシップは欠かせない。就任から10年が経ち一つの節目を迎えたが「中西イズム」は職員間に浸透し市民の負託に応えているか、以下の点に関し市長の見解を求める。
- ① 市政のリーダーとなったことで、市民の幸せに繋がってきているのか、市長の見解を示されたい。
 - ② 副市長の職責について政策・人事・予算に関与する範囲を示されたい。
 - ③ 部長・課長の予算執行権限の金額及び職権内容を示されたい。
 - ④ 入札契約と随意契約について、その決定権の内容を示されたい。

2 福祉行政について

- (1) 出産は鹿屋市の将来像を描くうえで最初の祝い事である。出産に係る費用は平等性が保たれているか示されたい。
- (2) 視覚障がい者の老後の生活を支える介護支援施設の必要性について現状と広域設置構想を示されたい。

3 教育行政について

- (1) コロナ禍を経て学校におけるICT教育は目を見張るものがあり、人工知能(AI)の出現で児童生徒の思考力向上は全科目に対し必要と考える。「読み書き」の重要性を教育長はどのように捉え、対応する教育現場を導くのか見解を示されたい。
また、小学館世界J文学館の扱いを示されたい。